

第1回 サブオービタル飛行に関する官民協議会 議事要旨

1. 日 時 令和元年6月26日（水） 10:00～10:50

2. 場 所 中央合同庁舎第4号館共用1203会議室

3. 議 事

- (1) 官民協議会について
- (2) 国内事業者の状況
- (3) 国際基準の動向と関連する国内法令等
- (4) 今後の取組

4. 出席者

別添のとおり

5. 議事概要

○冒頭、共同事務局を代表し、高田内閣府宇宙開発戦略推進事務局長及び蝦名国土交通省航空局長から、挨拶があった。

○議事（1）に関して、資料1-1、1-2に基づき事務局から説明があった。本資料に基づき官民協議会を開催・運営していくことが了承された。

○議事（2）に関して、資料2-1に基づきSPACE WALKERから、資料2-2に基づきPDエアロスペースから、開発・実証計画等の説明がされた。PDエアロスペースからは、有翼の機体による宇宙空間への飛行、既存の空港にて離発着することに対する法的取扱いに関する提案がされた。

○議事（3）に関して、資料3-1に基づき国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構から、IC0/UNOOSA シンポジウムにおけるサブオービタル飛行を中心とした商業宇宙輸送の国際基準の在り方等の議論について説明がされた。また関連する主な国内法令として、資料3-2、資料3-3、資料3-4に基づき、内閣府、総務省、国土交通省から、各々宇宙活動法、電波法、航空法について説明がされた。加えて国土交通省からは、サブオービタル機の実証実験の安全性の確保の観点から実証実験WGにおいて、

リスクの洗い出しやその対処方針を検証すべき等の説明がされた。最後に資料３－５に基づき内閣官房から、規制のサンドボックス制度について説明がされた。

○議事（４）に関して、資料４－１、４－２に基づき事務局から説明がされ、議事（２）及び議事（３）における議論を踏まえ、「実証実験 WG」及び「将来課題検討 WG」を設置して、今後の検討を進めていくことが了承された。

以上

(別添)

出席者

株式会社 SPACE WALKER 取締役 CTO	米本 浩一
PD エアロスペース株式会社 代表取締役社長	緒川 修治
一般社団法人 Space Port Japan 理事	青木 英剛
一般社団法人日本航空宇宙工業会 技術部部长 (宇宙担当)	宇治 勝
内閣官房副長官補室内閣参事官 (科学技術担当)	松浦 重和
内閣官房日本経済再生総合事務局企画官	田邊 国治
総務省総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課長	豊嶋 基暢
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課長	藤吉 尚之
経済産業省製造産業局宇宙産業室長	浅井 洋介
国土交通省総合政策局技術開発推進室長	伊崎 朋康
防衛省防衛政策局戦略企画課グローバル戦略企画官	坪郷 聡
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構経営推進部長	石井 康夫
事務局	
内閣府宇宙開発戦略推進事務局 局長	高田 修三
審議官	行松 泰弘
参事官	山口 修治
国土交通省航空局 局長	蝦名 邦晴
安全部長	高野 滋
総務課政策企画調査室長	竹内 大一郎